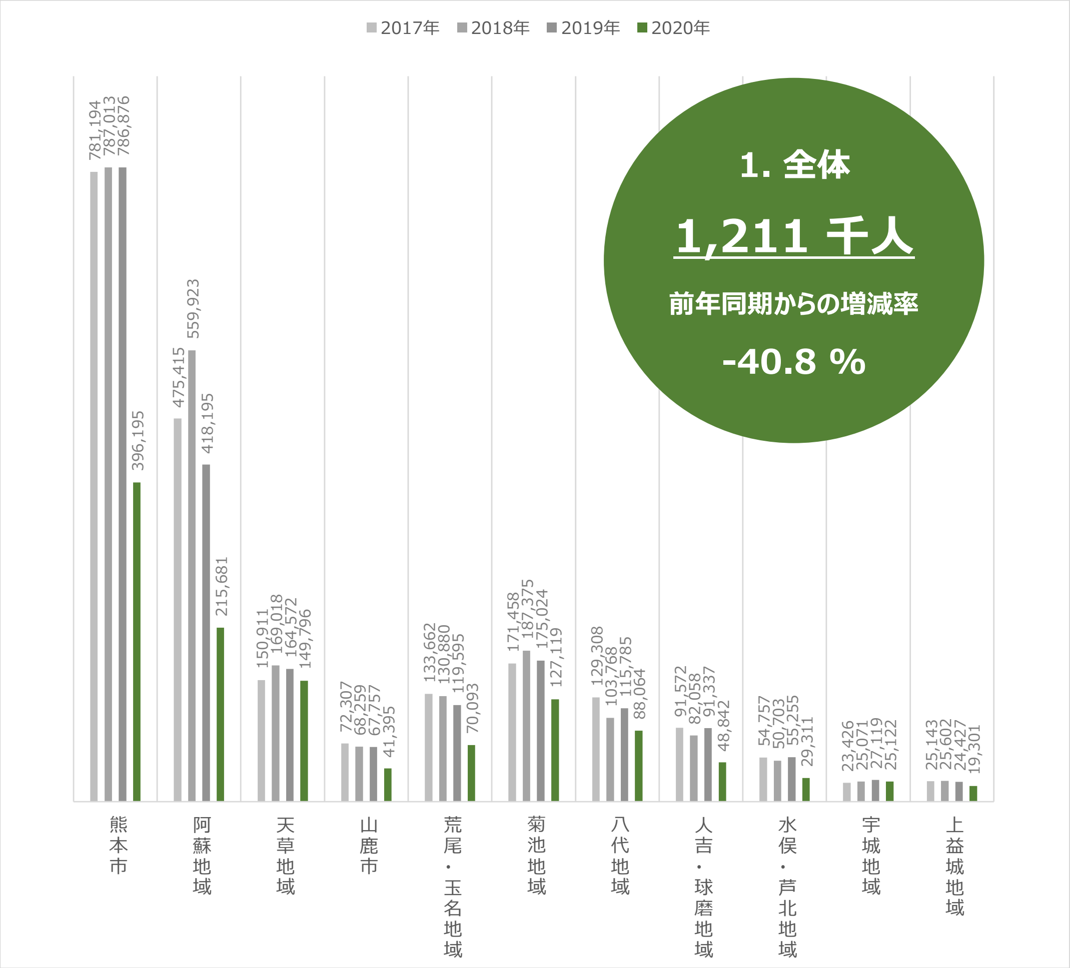
2020年3Q　熊本県宿泊旅行統計調査（ 地域間比較 ）

1. 延べ宿泊者数（全体）

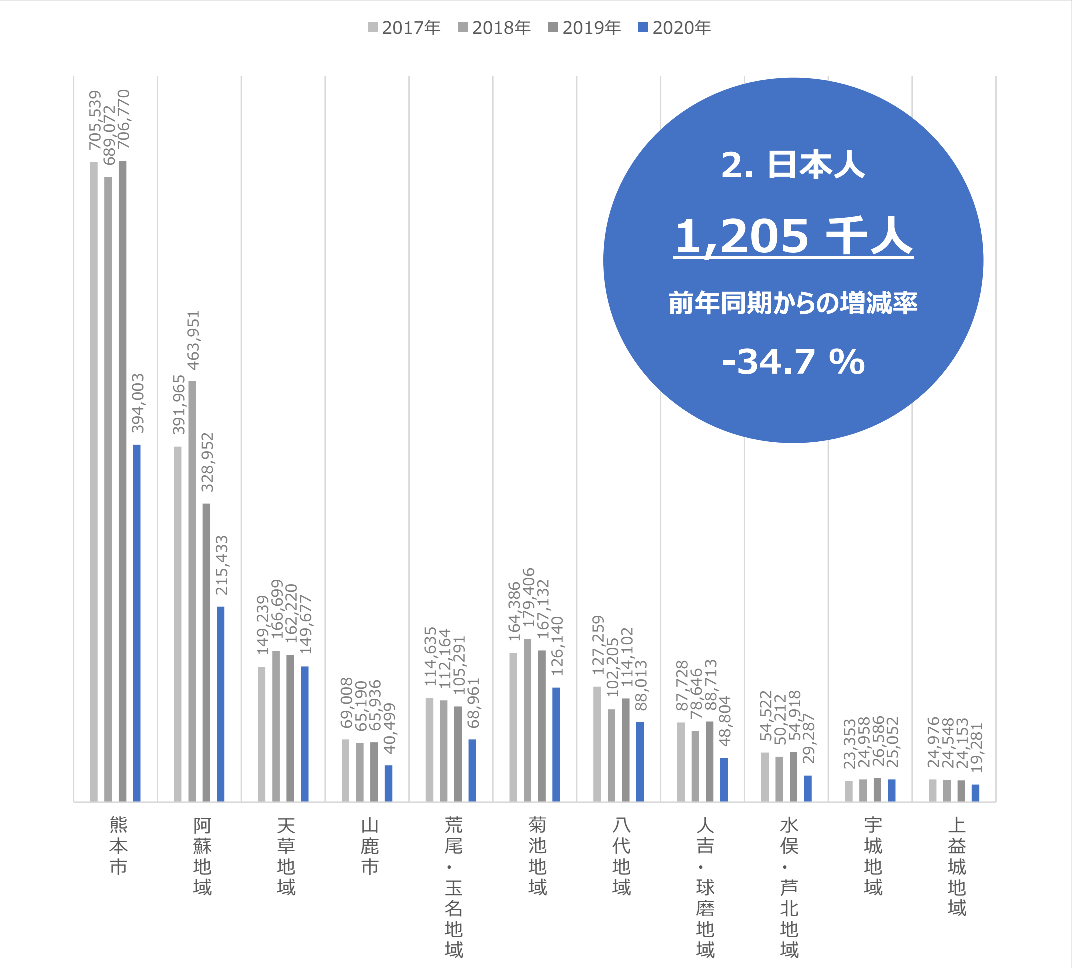
地域	4年推移				前年比	
	2017年	2018年	2019年	2020年	増減数	増減率
熊本県全体	2,109,150	2,189,670	2,045,942	1,210,920	-835,022	-40.8 %
熊本市	781,194	787,013	786,876	396,195	-390,681	-49.6 %
阿蘇地域	475,415	559,923	418,195	215,681	-202,514	-48.4 %
天草地域	150,911	169,018	164,572	149,796	-14,776	-9.0 %
山鹿市	72,307	68,259	67,757	41,395	-26,362	-38.9 %
荒尾・玉名地域	133,662	130,880	119,595	70,093	-49,502	-41.4 %
菊池地域	171,458	187,375	175,024	127,119	-47,905	-27.4 %
八代地域	129,308	103,768	115,785	88,064	-27,721	-23.9 %
人吉・球磨地域	91,572	82,058	91,337	48,842	-42,495	-46.5 %
水俣・芦北地域	54,757	50,703	55,255	29,311	-25,944	-47.0 %
宇城地域	23,426	25,071	27,119	25,122	-1,997	-7.4 %
上益城地域	25,143	25,602	24,427	19,301	-5,126	-21.0 %



2020年3Q 熊本県宿泊旅行統計調査（ 地域間比較 ）

2. 日本人延べ宿泊者数

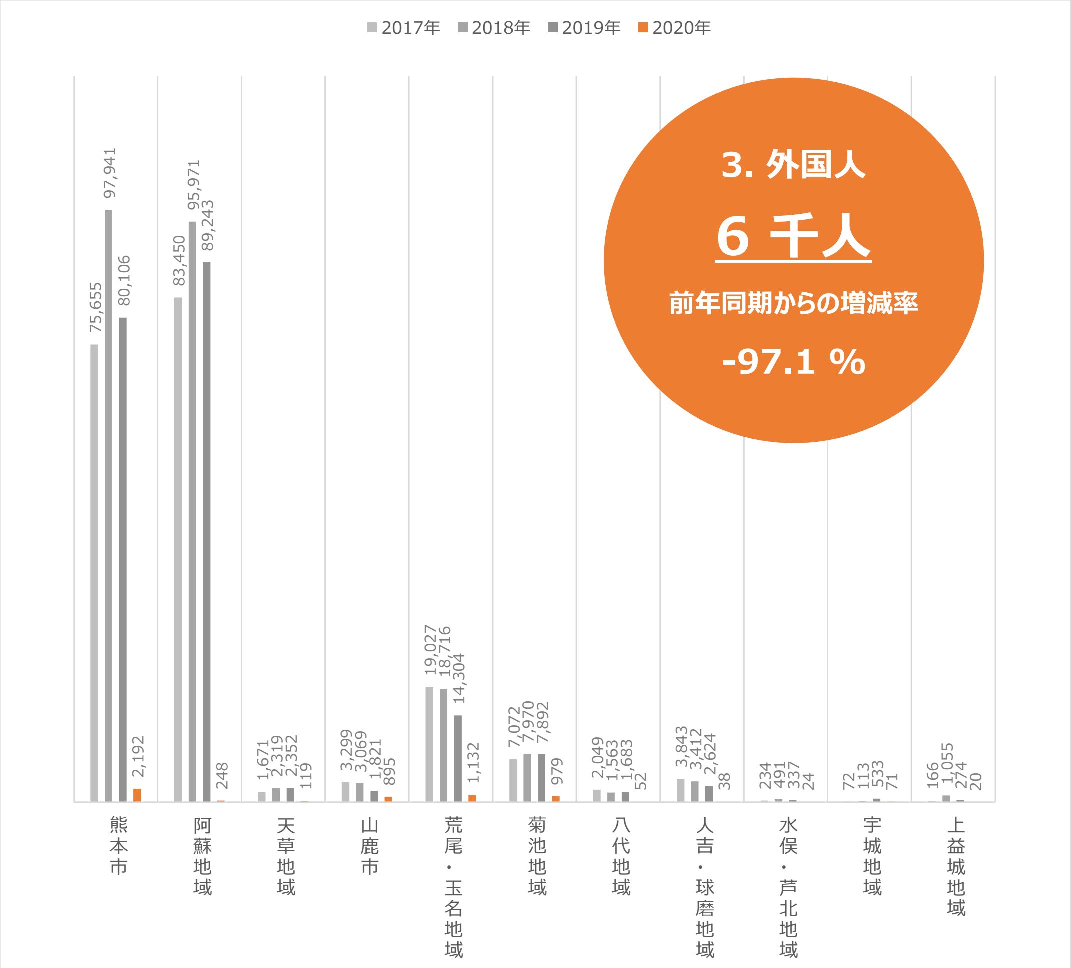
地域	4年推移				前年比	
	2017年	2018年	2019年	2020年	増減数	増減率
熊本県全体	1,912,610	1,957,050	1,844,773	1,205,150	-639,623	-34.7 %
熊本市	705,539	689,072	706,770	394,003	-312,767	-44.3 %
阿蘇地域	391,965	463,951	328,952	215,433	-113,519	-34.5 %
天草地域	149,239	166,699	162,220	149,677	-12,543	-7.7 %
山鹿市	69,008	65,190	65,936	40,499	-25,437	-38.6 %
荒尾･玉名地域	114,635	112,164	105,291	68,961	-36,330	-34.5 %
菊池地域	164,386	179,406	167,132	126,140	-40,992	-24.5 %
八代地域	127,259	102,205	114,102	88,013	-26,089	-22.9 %
人吉･球磨地域	87,728	78,646	88,713	48,804	-39,909	-45.0 %
水俣･芦北地域	54,522	50,212	54,918	29,287	-25,631	-46.7 %
宇城地域	23,353	24,958	26,586	25,052	-1,534	-5.8 %
上益城地域	24,976	24,548	24,153	19,281	-4,872	-20.2 %



2020年3Q 熊本県宿泊旅行統計調査（ 地域間比較 ）

3. 外国人延べ宿泊者数

地域	4年推移				前年比	
	2017年	2018年	2019年	2020年	増減数	増減率
熊本県全体	196,540	232,620	201,169	5,770	-195,399	-97.1 %
熊本市	75,655	97,941	80,106	2,192	-77,914	-97.3 %
阿蘇地域	83,450	95,971	89,243	248	-88,995	-99.7 %
天草地域	1,671	2,319	2,352	119	-2,233	-94.9 %
山鹿市	3,299	3,069	1,821	895	-926	-50.8 %
荒尾・玉名地域	19,027	18,716	14,304	1,132	-13,172	-92.1 %
菊池地域	7,072	7,970	7,892	979	-6,913	-87.6 %
八代地域	2,049	1,563	1,683	52	-1,631	-96.9 %
人吉・球磨地域	3,843	3,412	2,624	38	-2,586	-98.6 %
水俣・芦北地域	234	491	337	24	-313	-92.7 %
宇城地域	72	113	533	71	-462	-86.8 %
上益城地域	166	1,055	274	20	-254	-92.6 %



2020年3Q 熊本県宿泊旅行統計調査（ 地域間比較 ）

＜ 11地域：市町村の区分と調査実施状況 ＞

2020年3Qの宿泊旅行統計調査（観光庁）における熊本県内11地域の調査実施状況は以下の通りです。

地域	市町村	調査年月	調査対象施設数	有効回答数	有効回答率
00.熊本県全体	県内全市町村	2020年7月	1,064 施設	236 施設	22.2%
		2020年8月	1,064 施設	247 施設	23.2%
		2020年9月	1,064 施設	247 施設	23.2%
01.熊本市	熊本市	2020年7月	147 施設	52 施設	35.4%
		2020年8月	147 施設	54 施設	36.7%
		2020年9月	147 施設	51 施設	34.7%
02.阿蘇地域	阿蘇市、南小国町、小国町、産山村、高森町、南阿蘇村、西原村	2020年7月	285 施設	52 施設	18.2%
		2020年8月	285 施設	61 施設	21.4%
		2020年9月	285 施設	53 施設	18.6%
03.天草地域	天草市、上天草市、苓北町	2020年7月	252 施設	54 施設	21.4%
		2020年8月	252 施設	52 施設	20.6%
		2020年9月	252 施設	55 施設	21.8%
04.山鹿市	山鹿市	2020年7月	42 施設	10 施設	23.8%
		2020年8月	42 施設	14 施設	33.3%
		2020年9月	42 施設	14 施設	33.3%
05.荒尾・玉名地域	荒尾市、玉名市、玉東町、和水町、南関町、長洲町	2020年7月	34 施設	12 施設	35.3%
		2020年8月	34 施設	10 施設	29.4%
		2020年9月	34 施設	13 施設	38.2%
06.菊池地域	菊池市、合志市、大津町、菊陽町	2020年7月	47 施設	17 施設	36.2%
		2020年8月	47 施設	15 施設	31.9%
		2020年9月	47 施設	15 施設	31.9%
07.八代地域	八代市、氷川町	2020年7月	53 施設	11 施設	20.8%
		2020年8月	53 施設	8 施設	15.1%
		2020年9月	53 施設	10 施設	18.9%
08.人吉・球磨地域	人吉市、錦町、あさぎり町、多良木町、湯前町、水上村、相良村、五木村、山江村、球磨村	2020年7月	121 施設	14 施設	11.6%
		2020年8月	121 施設	19 施設	15.7%
		2020年9月	121 施設	21 施設	17.4%
09.水俣・芦北地域	水俣市、芦北町、津奈木町	2020年7月	32 施設	8 施設	25.0%
		2020年8月	32 施設	8 施設	25.0%
		2020年9月	32 施設	8 施設	25.0%
10.宇城地域	宇土市、宇城市、美里町	2020年7月	20 施設	3 施設	15.0%
		2020年8月	20 施設	3 施設	15.0%
		2020年9月	20 施設	3 施設	15.0%
10.宇城地域	御船町、嘉島町、益城町、甲佐町、山都町	2020年7月	31 施設	3 施設	9.7%
		2020年8月	31 施設	3 施設	9.7%
		2020年9月	31 施設	4 施設	12.9%

熊本県宿泊旅行統計調査について

1. 本調査は以下を調査結果として表章しています。

(1) 延べ宿泊者数、発地別宿泊者数・割合、調査対象施設数、有効回答数・回答率、国籍（出身地）別宿泊者数・割合
観光庁が実施する「宿泊旅行統計調査」の調査票情報の提供を受けて県内11の地域ごとに推計または集計した値
※2017～2019年は確定値、2020年は速報値を採用

(2) 気象情報
気象庁および一般財団法人気象業務支援センターが提供するオープンデータをもとに集計した値

(3) 地域のトピックス
メディア（TVや新聞など）のデータベースから県内11の地域ごとに観光に関連する情報を収集したもの

(4) 観光シーズンの動向
「DATASALAD」（公益財団法人九州経済調査協会）の宿泊稼働状況指数、「観光予報プラットフォーム」（観光予報プラットフォーム推進協議会）の宿泊実績から県内11の地域ごとに動向をまとめたもの

2. 推計方法は、標本調査結果を母集団に拡大する「ウェイトバック集計」により県独自で算出しています。

3. 調査結果の整合については以下に注意が必要です。

(1) 本調査内の数値
端数処理（表記のひとつ下の位で四捨五入）により内訳とその合計に差異が生じることがあります。
国籍（出身地）別は従業者数10人以上の施設を対象とした調査であるため、その合計は外国人延べ宿泊者数と一致しません。

(2) 他の同類・類似調査
調査ごとに仕様が異なるため同類・類似調査であっても結果に差異が生じ、その程度は大小さまざまになることが想定されます。
⇒ 仕様：調査の目的や手法、入手する情報やその時期など